

令和6年度第3回尾張西部構想区域地域医療構想推進委員会 議事概要

- 1 日 時 令和6年12月26日(木) 午後2時から午後2時43分まで
- 2 場 所 一宮市保健所 4階 大会議室
- 3 出席者 別添出席者名簿のとおり
- 4 傍聴人 6人
- 5 議 題 地域で不足している外来医療機能(予防接種)に関する検討について【愛知県外来医療計画に関する部分】
- 6 協議結果 議題は承認されました
- 7 会議の内容

(1) 開会(清須保健所次長)

令和6年度第3回尾張西部構想区域地域医療構想推進委員会を開催します。

(2) 委員長の選出について

開催要領第3第4項の規定による委員の互選で、委員長は一宮市医師会の櫻井様が選出されました。

(3) 委員の出欠席について

構成委員数は16名で、出席委員数は15名、欠席委員数は1名で、委員の過半数が出席しています。

(4) 会議の公開・非公開について

当委員会、開催要領第6第1項によりまして、全て公開で行います。

(5) 議事

ア 地域で不足している外来医療機能(予防接種)に関する検討について【愛知県外来医療計画に関する部分】「資料1、資料2、参考資料1」

(説明者：清須保健所 岡部課長補佐)

・当医療圏の現状として、予防接種を実施する医療機関の状況は、定期接種のA類疾病やB類疾病において、愛知県平均を上回る状況がみられ、地域において特段の問題は起きていないと考えられます。

・地域で不足している外来医療機能に係るプロセス図では、地域で不足している外来医療機能に関する検討は、全ての医療圏が対象となり、協議状況の公表や新規開業者等への情報提供を行います。具体的には、地域医療構想推進委員会の議事録等を県のWebページで公表し、診療所新規開業者等から開業相談時に所管保健所から情報提供を行い、新規開業者には地域で不足している外来医療機能を担うことを求め、医療圏で不足する機能の実施予定を診療所開設届に添付して所管保健所へ提出します。

・地域の外来医療機能の予防接種の現状に対する事務局案としては、ワクチンの種類によっては差がありますが、定期接種のA類疾病に関しては、多くの定期接種ワクチンで愛知県の平均を上回っています。これは地域の予防接種体制がしっかり整っていることを示しています。次に、定期接種のB類疾病についてですが、こちらも愛知県の平均と比較して遜色ない状況になっています。このことから、B類疾病についても、地域の外来医療機能が十分に機能していることが分かります。また、任意接種に関しては、半数以上のワクチンで愛知県の平均を上回っており、愛知県の平均以下のワクチンも、概ね上位5位以内の順位に位置していますので、地域において特段の問題は起きていないと考えられます。さらに、各市の状況を参考に確認したところ、ワクチンの種類によって、市ごとに差がみられるものの、地域全体で不足している外来医療機能はないと位置付けます。

イ 質疑

(一宮市保健所 子安所長)

・定期接種のB類のところで、新型コロナウイルス感染症については、今年度からB類の指定がされたばかりなので、データの数値が無いと思いますが、今年の10月から始まっており、順調に実施できています。

(清須保健所 栗木所長)

・予防接種の数値につきましては、令和6年3月に策定されました保健医療計画において公表されました数値を使用しています。

(一宮市医師会長 櫻井義也委員「委員長」)

・新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種率は、一宮市と名古屋市が低いと聞いています。理由としましては、接種券が届くと考えて待っている市民が多いことが一因ではないかと思われます。一宮市と名古屋市は接種券を送付していないため、一宮市に申し入れを行い、現状は市の広報で注意の案内をしています。

(一宮市保健所 子安所長)

・御指摘いただきました部分については、現在、ウェブと広報で周知を図っています。

ウ 非稼働病棟の現状について「資料3」

(説明者：清須保健所 岡部課長補佐)

・令和6年に行われた県独自の調査結果に基づき、非稼働病棟の現状について報告します。

・総合大雄会病院の中5階の病棟について、ベッド数は8床あり、2018年1月から非稼働の状態にあります。当初は2025年4月に再開予定でしたが、一部の病棟の改装が必要になる部分の資材の調達や建設作業員の確保が困難な状況にあることと、

透析治療を担う腎臓内科医の採用が計画どおりに進まず遅れているため、病棟の再開予定が2026年5月へと延期されることになりました。病棟の再開に向けては、引き続き腎臓内科医の募集を行うとともに、泌尿器科医や非常勤腎臓内科医で診療にあたる計画を進めていきます。

・稲沢市民病院の3階北病棟について、ベッド数は32床あり、2019年10月から非稼働の状態にあります。新型コロナウイルス感染症への対応のため、医療スタッフを集約し、一時的に休床としましたが、現在までコロナ禍以前の入院患者数に回復していない状況から休床が続いています。入院患者数の増加に向けて、地域医療連携ガイドブックを作成し、近隣の診療所へ紹介患者の働きかけを行うとともに、登録医制度を導入し、逆紹介の推進を図って、患者の確保に努めています。

エ 令和6年度の地域医療構想推進委員会の進め方（高齢者救急医療の後ろ倒し）について「資料4、参考資料2」

（説明者：清須保健所 岡部課長補佐）

・高齢者救急医療の地域医療構想推進委員会の進め方については、資料4の左側のスケジュールの予定でありましたが、現時点で医療計画課において、スタートが切れていない状況になっていますので、令和7年度からのスタートで1年後ろ倒しになります。

オ 質疑

（一宮市医師会長 櫻井義也委員「委員長」）

・全てが遅れていると理解してよろしいですか。

（清須保健所 岡部課長補佐）

・全体的な遅れになります。

（清須保健所 栗木所長）

・当初のスケジュールでは、令和6年9月から10月頃に開催する研修会において、まとめの資料を配付する予定でしたが、実際は、研修会から遅れていまして、資料の配付もできていません。そのため、検討をお願いすることもできていませんので、令和6年度に予定していた高齢者救急医療の検討を令和7年度に後ろ倒しになります。

（一宮市医師会長 櫻井義也委員「委員長」）

・12月8日に開催された研修会では、高齢者救急医療の内容もなかったですね。

（清須保健所 栗木所長）

・そのとおりです。テーマも違う研修会でした。

カ 地域医療構想達成に向けた具体的対応方針の一部改正について「資料 5、資料 6」
(説明者：清須保健所 岡部課長補佐)

- ・今回の改正の主なポイントは、2025 年において担う役割の方針に新興感染症を追加した点で、新興感染症に対する対応も地域医療構想における重要な役割と位置付けられました。

- ・本県における 5 疾病 6 事業及び在宅医療等を行う医療機関として記載する際の区分が変更され、新興感染症が追加されました。判断基準の区分には、感染症対応に係る協定を締結した医療機関が追加され、協定の締結内容には、発熱外来、自宅療養者支援、後方支援、人材派遣、防護服の備蓄があり、これに対応する医療機関として、明確になりました。

- ・具体的対応方針の内容について、介護療養病床等から転換した介護医療院の定員については、これまで病床とみなしていましたが、令和 6 年 3 月で経過措置期間が終了したため、記入欄が削除されることになりました。

キ 医療機器の稼働状況について「資料 7、資料 8、参考資料 1」

(説明者：清須保健所 岡部課長補佐)

- ・医療機器の稼働状況報告書は、医療機器がどの程度利用されているかを示す指標になり、医療機器の設置台数や稼働状況を把握する重要な報告です。対象医療機器は、CT、MRI、PET、放射線治療機器のリニアックとガンマナイフ及びマンモグラフィです。

- ・地域の医療資源を可視化する観点から医療機器の稼働状況について、報告を求めています。また、外来機能報告対象医療機関は、外来機能報告による報告をもって、医療機器の稼働状況報告書に替えることができます。

- ・一宮市内のおおすきクリニックの稼働状況報告書によると、対象医療機器はCT1 台で、令和 5 年 5 月から令和 6 年 3 月の 11 か月間の利用件数が 144 件となっています。なお、当医療機関においては、共同利用の実績はありません。

- ・稲沢市内の尾張こどもの睡眠・呼吸・アレルギークリニックの稼働状況報告書によると、対象医療機器はCT1 台で、令和 5 年 7 月から令和 6 年 3 月の 9 か月間の利用件数が 376 件となっています。なお、当医療機関においては、共同利用の実績はありません。

ク 質疑

(一宮市医師会長 櫻井義也委員「委員長」)

- ・今回の報告は 2 件でしたが、対象となる医療機関は、これで全てですか。

(清須保健所 河野次長)

- ・そのとおりです。当構想区域内では、外来機能報告以外の紙による報告は、この 2 件です。

(一宮市医師会長 櫻井義也委員「委員長」)

・診療所では、これ以外にも CT や MRI を設置しているところがあると思いますが、これに関しての報告はないのですか。

(清須保健所 河野次長)

・令和 5 年度以降の医療機器の設置が対象になります。

(一宮市医師会長 櫻井義也委員「委員長」)

・医師会としまして、診療所の新規開業時に説明していますので、把握をよろしくお願いします。

(清須保健所 河野次長)

・分かりました。

ケ その他「資料配付」

(説明者：清須保健所 岡部課長補佐)

・尾張西部医療圏の一般病床及び療養病床につきまして、令和 6 年 9 月 30 日現在の既存病床数は 3,522 床で、基準病床数 3,979 床を下回っています。また、2025 年の病床の必要量、必要病床数推計の 3,922 床も下回っています。

(6) 閉会 (清須保健所次長)

令和 6 年度第 3 回尾張西部構想区域地域医療構想推進委員会は、これをもって、閉会といたします。